

いきいきと輝く社会づくり

TOPIC

チャレンジできる環境づくりでキャリアアップを支援



NTT西日本ルセントは、2009年7月に設立された特例子会社です。現在約280人の障がいのある社員が働いており、NTT西日本グループにおける営業系、設備系等の業務を担っています。

障がい特性を活かし、一人ひとりが力を発揮できるよう、支援メンバーについても就労支援機関との連携や、定期的な研修受講から障がいについての理解を深め、「具体的な作業や行動を示したマニュアルの配備」、「適性にあった仕事ができるよう業務の細分化を図る」等、きめ細やかなサポートを実施しています。

また、社員の自律的成長に向けて、表彰制度や職場環境



在宅勤務者を交えたウェブ会議の風景

の改善発表会等、互いに切磋琢磨できる機会を用意し、それぞれのチャレンジを推進する環境を大切にしており、「自発的な業務改善の実施」、「確実性を高



互いに意見を出し合い業務にあたる社員

める業務手法のメンバー共有」等、自らのキャリアアップとチームワークの成熟に向けて行動し、成果を出す社員が活躍しています。

NTT西日本グループでは、今後も多様な人材がいきいきと輝けるよう、一人ひとりが自分らしくチャレンジできる組織風土と働きやすい職場環境づくりを推進していきます。

CSR重点活動項目

ダイバーシティの推進

基本的な考え方

「ちがいを」価値として、多様な人材が「自分らしく」チャレンジできる組織風土づくりに取り組んでいます。

障がい者雇用の推進



NTT西日本グループでは、障がいのある方が職業を通じ、誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、多様な活躍フィールドを活かした雇用機会の創出、拡大を図って

います。現在1,000人を超える障がいのある社員が、さまざまな職場で活躍しています。

障がい者雇用率の推移

	2016年6月	2017年6月	2018年6月
障がい者雇用率	2.20%	2.37%	2.73%

女性社員の活躍推進



より多くの女性社員がリーダーシップを発揮し、経営の意思決定の場に参画できるよう、女性のライフイベントを踏まえた中長期的な視野でのキャリア意識の醸成と、その実現を支える職場環境、風土づくりに取り組んでいま

す。中堅女性社員を対象としたマネジメント力向上のための研修や、結婚出産等のライフイベントとの両立を支援する各種セミナー、女性社員と管理者との対話会等を毎年継続的に実施しています。政府が推進する「女性活躍推進法(2016年4月1日施行)」についても「一般事業主行動計画」を定め、社員一人ひとりが「自分らしいキャリアの実現」ができる環境づくりに積極的に取り組んでいます。また、2017年度から、新卒の採用数を増やし、育児休職を取得した社員の職場へ後任の人員配置を行って育児休職を取りやすく、ライフイベントと両立したキャリアプランを描けるように対応しています。

優良企業認定マーク「えるぼし」最高位に認定

NTT西日本は、女性の活躍に関する取り組みの実施状況が優良な企業として、2017年1月に厚生労働大臣から女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」の最高位を取得しました。



LGBT等性的マイノリティへの対応

NTT西日本グループでは、多様性の1つとしてLGBT等性的マイノリティへの適切な対応をめざし、社内外相談窓口での対応に加え、社員の理解醸成に向けた研修やセミナーを実施しています。また、2018年4月には誰もが安心して働ける環境づくりをさらに推進するため、各種手当や福利厚生等、配偶者およびその家族に関わる制度全般を同性のパートナーにも適用しました。

「PRIDE指標」においてゴールド受賞

NTT西日本グループは、2018年10月、任意団体 work with Prideが策定した企業・団体におけるLGBT等性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標」において、2017年に引き続き、ゴールドを受賞しました。



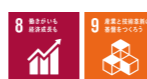
CSR重点活動項目

働きがいのある職場の実現

基本的な考え方

社員個々のライフステージや価値観等を尊重しつつ、社員のワークライフのさらなる充実に向けた取り組みを展開しています。

「働き方改革」の推進



NTT西日本グループでは、多様な働き方の実現に向け、「働き方改革」に取り組んでいます。

現場の声を起点とした業務改善や、時間と場所にとられない働き方の実現に向けたテレワーク環境・制度整備(フレックスタイム制、在宅勤務等)を進めてきました。

今後は、全社員の生産性意識の醸成をベースとしつつ、デジタルトランスフォーメーション、ワークライフマネジメントによる新たなチャレンジや付加価値の創出等、社員も会社も成長し続ける環境づくりをめざして、全社改革を推進します。

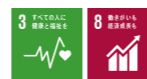
次世代育成支援



NTT西日本では「次世代育成支援対策推進法」に基づき、性別・年代を問わず、ワークライフマネジメント推進に対する理解促進、および社員個人の多様な働き方を受容する組織風土づくりに向けた「行動計画」を立て、その実践に取り組んでいます。その取り組み成果が認められ、同法に基づく認定(くるみん認定)を取得しています。2017年4月1日より、「第五次行動計画(2017年4月1日~2019年3月31日)」を策定し、これまでの取り組みの継続、定着に加え、効率的な働き方による、全社員を対象としたワークライフマネジメントの推進に取り組んでいきます。



企業内保育所等の環境整備



NTT西日本グループは多様な人材の活躍に向けた取り組みの一環である「子育て支援」として、2017年に企業内保育所「ゆめみいよ保育園」を愛媛県松山市に開設しました。同保育園は当社社員以外も利用できる施設で、地域の子育て支援に貢献しています。

さらに、福利厚生の一環として、西日本エリアで約370の育児施設の利用を可能としており、利用時には料金補助等が受けられるなど、仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境の充実を図っています。

職場風土の見える化



NTT西日本グループでは、いきいきとした職場づくりに向け、風土改革の取り組みを進めています。その1つとして、毎年、職場風土状況の見える化を目的とした職場診断を実施しています。診断結果を各職場へフィードバックすることで、職場実態にあった改善を促し、さらなるエンゲージメント向上に努めています。

各種制度の利用状況



各種制度	2016年度		2017年度	
	男性	女性	男性	女性
年次有給休暇				
取得日数(日) (1人あたり平均)	19.8	18.7	20.8	18.9
取得率(%) (年間発給数(20日)に対する平均取得日数)	99.0	93.7	103.8	94.5
出産・育児				
育児休職(人)	9	306	18	425
育児短時間(人)	4	311	8	499
介護				
介護休職(人)	6	13	11	22
介護短時間(人)	5	13	18	25
ライフプラン休暇				
育児(人)	100	80	134	81
介護(人)	887	148	962	144
再採用制度登録者数(退職者の事由別)				
育児(人)	0	5	0	6
介護(人)	0	0	0	0
配偶者の海外転勤等(人)	0	4	0	6
在宅勤務制度				
在宅勤務制度利用者数(人)	623		1,048	

CSR重点活動項目

健康経営の推進

基本的な考え方

社員・家族が心身ともに健康で働き続けられる環境づくりを促進しています。

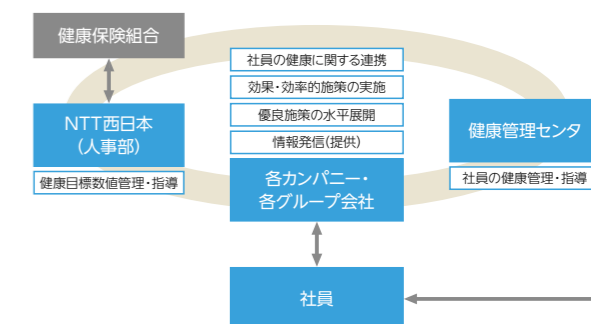
健康経営[※]の推進体制



NTT西日本グループでは、社員が心身ともに健康で、かつ安心して働き続けられる環境をつくり、社員の生産性・モチベーションが向上するようグループ一体で戦略的に取り組んでいます。推進に当たっては本社人事部が推進責任者となり、健康管理センタと連携し、情報の発信や優良施策の展開、健康管理の指導等を実施しています。また、定期健康診断はもとより、希望者には人間ドックの受診機会の提供、生活習慣病対策として40歳以上の生活習慣病者に対しては、特定保健指導を実施しています。こうした取り組みは2018年度より「健康目標」を定め、見える化を図り健康経営を推進しています。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

健康経営の推進体制

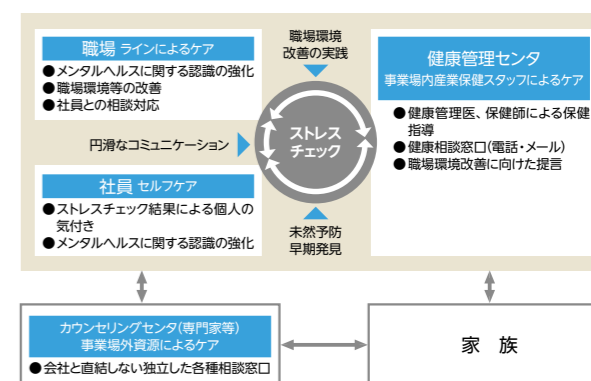


メンタルヘルスケア



メンタルヘルス対策については、厚生労働省が定めた「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を踏まえ、積極的に取り組んでいます。「4つのケア」に基づいたセルフケアとして、ストレスチェックを実施するとともに、ラインケア研修を含めた各種研修の実施や、社内外の医療スタッフによる健康相談窓口を設け、社内外で相談しやすい環境づくりに努めています。

メンタルヘルス対策推進体制イメージ



CSR重点活動項目
安全労働の推進

基本的な考え方

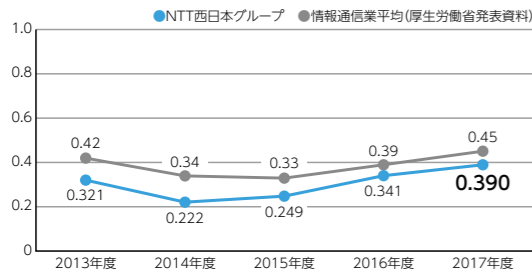
職場におけるすべての社員の安全を確保するとともに、快適な職場環境の促進をめざしています。

労働災害ゼロをめざして

NTT西日本グループは、安全労働を第一に、作業現場の安全パトロール、安全点検、安全講習会、各地域単位での安全大会開催や作業環境の改善等、各種安全対策を積極的に実施し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組み、事故の未然防止に努めています。2017年度の労働災害については16件発生しており、おもな原因は、基本動作不徹底等によるものです。

これらの未然防止に向けた労働災害についてのタイムリーな情報共有、再発防止に向けた注意喚起を行う等の各種取り組みを継続的に実施することで、労働災害ゼロをめざします。安全確保・事故防止に必要な基本事項について、連携する通信建設会社を含めたNTT西日本グループトータルで協議と情報共有を行っています。

労働災害発生度率の推移



「安全の日」と連動した活動

年2回開催される安全対策協議会で、現場への浸透を図るため、事故再発防止策に関する議論を行う等、労働災害根絶に向け、積極的に取り組んでいます。

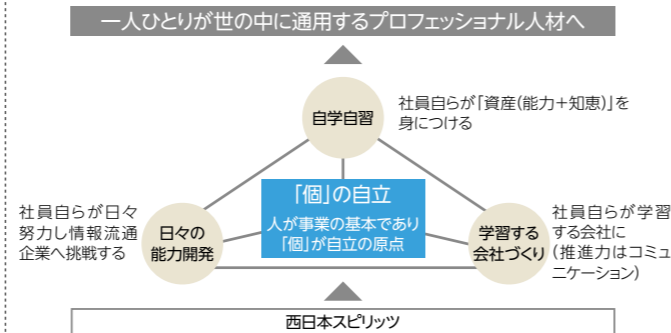
2017年度のおもな取り組みとして、各職場において安全自主活動の活性化を目的に、全作業員が自ら考え安全な行動をする活動を推進しています。継続的な取り組みとして、人身事故情報を現場作業者に確実かつタイムリーに情報配信するとともに、全作業員が過去の事故事例に学び、再発防止策を確認しています。

人材育成

人材育成の推進

社員一人ひとりがプロフェッショナル人材へと成長していくために、「個」の自立に向けた能力開発を推進し、社員が自らのキャリアデザインを描き主体的に学ぶ姿勢をサポートする環境等を提供しています。具体的には、チャレンジ意欲・モチベーション向上に応えるさまざまな育成プログラムとして、各事業分野に適応した集合研修、eラーニング、通信教育、社内スキル認定制度、資格取得に向けた支援制度等の整備・充実を図り、スキル・ノウハウの向上に努めています。

人材開発ビジョン



人材育成関連データ

	2016年度	2017年度
研修プログラム数	2,265	2,322

お取引先とのかわり

公正な取引の徹底

社会の持続可能な成長への要請に応え、NTTグループでは「NTTサプライチェーンCSR推進ガイドライン」や「NTTグリーン調達ガイドライン」等の基本方針に沿ったオープンで公正な調達に取り組んでいます。また、サプライヤの皆さまと連携し、武装勢力の資金源となる「紛争鉱物」の不使用に向けた取り組みを推進します。

さらに、NTT西日本では品質や安全性・施工性の向上、環境保護への寄与等の改善をサプライヤの皆さまからご提案いただき、それを仕様に反映させる活動(VA: Value Analysis)を実施しており、優良な提案をいただいたサプライヤに対しては表彰を実施しています。

CSR重点活動項目
社会貢献活動の推進

基本的な考え方

NTT西日本グループは「企業は社会の一員である」と考えています。そして、このスローガンのもと、単なる金銭援助ではなく、積極的・継続的に社会貢献活動に参加し、「良き企業市民」として社会と共生することで地域と一体となつてともに感動し、成長しながらより良い未来を創造していきます。

「HUBChar」でホームレスの自立支援と放置自転車解消を両立

大阪府ではホームレスと放置自転車が大きな問題となっています。NTT西日本グループは、「ホームレス状態を生み出さない日本」をめざして就労支援等を行う認定NPO法人「Homedoor」が運営するシェアサイクル「HUBChar(ハブチャリ)」に協力し、2018年8月、府内3ビルの空きスペースに、自転車を借し出す「ポート」を設置しました。HUBCharはホームレスの方に故障修理や台数調整業務等を委託し、自立支援するソーシャルビジネスの側面もあります。今回のポート設置は、オープンイノベーションを促す取り組みとして、「二枚目の名刺*」プロジェクトに参画した社員の働きかけを契機として実現しました。すべてのポートは、民間企業の社会貢献の一環として提供される空きスペースを利用して設置されており、NTT西日本でも社会貢献活動の一環と考え無償で提供しています(2018年12月現在、府内5ビルに拡大)。

* 二枚目の名刺: 本業から離れ、自身の経験を活かすNPO法人等に参画する有期プロジェクト



NTT西日本高津ビルで、サービス開始セレモニーを開催

HUBCharのポート。3カ所ですべて16台の自転車を設置

子どものネット被害等を防ぐ「e-ネットキャラバン」への講師派遣の協力

NTT西日本グループは2017年度、小学校3・4年から高校生までの児童と生徒、保護者・教職員向けに総務省等が主催する出張講座「e-ネットキャラバン」に計180回、社員講師を派遣しました。高度化するネット社会において、子どもの適切なインターネット利用やメディアリテラシーの啓発に取り組み、安全なネット社会づくりに寄与します。

「スポーツボランティアを楽しもう! ~2020年、そしてその先へ~」in 大阪

NTT西日本グループは2018年1月、NTTグループの現役アスリートやボランティア・コーディネーターをゲストに、スポーツボランティア(SV)に興味を持つ社員向けトークイベントを開催しました。参加者からは「自分もSVで役に立ちたい気持ちが高まった」という声が出ました。NTT西日本グループは今後もSVをはじめとした社会貢献に積極的に参画し、来るビッグイベントの成功にも貢献していきます。



実際に競技(ポッチャ)を体験する時間

児童養護施設への社員サタクロース訪問

毎年恒例のNTT西日本グループ社員サタクロースが2017年12月、徳島県の児童養護施設「阿波国慈恵院」を訪問し、子どもたちと交流を深めました。当日はサタクロースとトナカイに扮した社員が子どもたちといっしょに歌や踊りで楽しい時間を過ごしました。サタクロースからのケーキや文具のクリスマスプレゼントに、子どもたちは喜びを隠さねない様子でした。子どもたちからは、この日のために練習したリズム感あふれるダンスのお返しがあり、施設内は笑顔で包まれました。今後も社員サタクロースと阿波国慈恵院の子どもたちとの交流を続けていきます。



歌や踊りの楽しいひと時に子どもたちも大喜び

「第8回 高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」沿道ボランティアに参加

NTT西日本グループでは、地域との強いつながりを通じたさまざまなイベントに協賛・参加することで、地域に根差した社会貢献活動を行っています。2018年4月に開催された「第8回 高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」には社員や退職者計78人が、沿道ボランティアとして参加しました。全国から11,300人もランナーが参加した大規模な大会において参加者はコースの準備や応援者がランナーと接触しないように制止する等、安全で円滑な運営を支えました。今後も地域に密着したイベントに積極的に参加することで、地域活性に向けた取り組みを続けていきます。



大会の運営に貢献